

北海道日本ハムファイターズ・北海道森林組合連合会・農林中央金庫の連携企画

道産木材を使用した木製しおりプレゼント

この度は大切な本の寄贈を誠にありがとうございました。

道産木材を使用した木製しおり5種類から、ランダムで1枚プレゼントいたします。
ぜひ、道産木材の温もりを感じていただき、長くご愛用いただけますと幸いです。

～今回プレゼントする道産木材のしおりのご紹介～



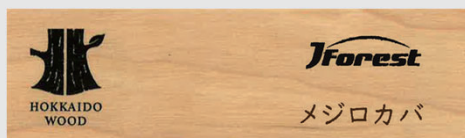
樹種：トドマツ（針葉樹）
特徴：道内で最も多く植林
用途：建築材、梱包材等



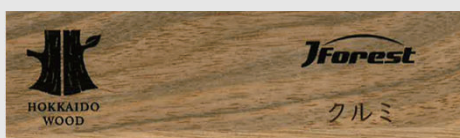
樹種：シラカバ（広葉樹）
特徴：道内で最も身近な樹木
用途：工芸品、フローリング等



樹種：シナノキ（広葉樹）
特徴：全国の山地に生育
用途：建築材、彫刻、合板等



樹種：メジロカバ（広葉樹）
特徴：道内の山岳地に生育
用途：高級内装材、家具等



樹種：クルミ（広葉樹）
特徴：果実は食用やタイヤ素材
用途：家具、フローリング等

＜本チラシのお問合せ先＞
北海道森林組合連合会
011-621-4293
soumu-shidou@doshinren.or.jp
農林中央金庫札幌支店
011-241-4218
e1_sapporo@nochubank.or.jp

～ロゴマークのご紹介～



「HOKKAIDO WOOD」は道産木材製品のブランド名称です。北海道の森林で産出された木材を用いて、道内で加工された製品を道産木材製品としております。



公式HP



森林組合（JForest）は、全国各地で森林づくりと持続可能な木材生産を進める協同組合です。道内では78森林組合と北海道森林組合連合会が活動しています。



道森連インスタ

～道産木材とファイターズの関わり～

バットにはメイプルやアオダモの木が使われています。中でもバットに最適なアオダモは北海道に自生する樹種ですが、人工造林は限定的なため、将来的には資源が枯渇すると言われています。この状況を踏まえ、ファイターズは2014年からアオダモの植林活動を実施しております。

また、道内に自生し、比較的資源量が豊富な樹種として、ダケカンバがあります。2019年9月には田中賢介さんが「道産ダケカンバ製バット」を使ってヒットを放ったことは記憶に新しいところです。



道産木材バットでのバッティング

道産木材利用の重要性

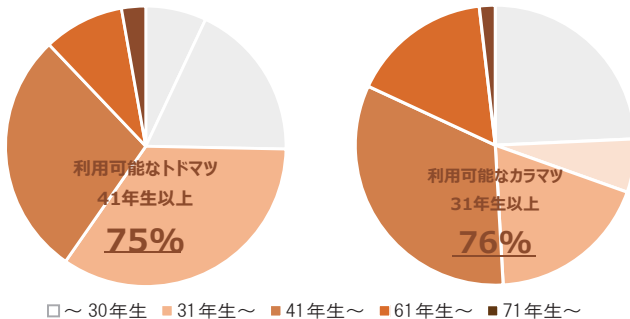


出典：「令和3年度 森林・林業白書」（林野庁）

日本は国土面積の3分の2を森林が占める世界有数の森林国です。「国土保全」「水源かん養」「地球温暖化防止」などの森林の持つ多面的機能を継続的に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」というサイクル（森林資源の循環利用）が重要となります。

利用可能な時期を迎えた人工林

針葉樹人工林の齢級別面積の割合（北海道）
トドマツ カラマツ



資料：北海道水産林務部「北海道林業統計（R2）」をもとに作成

道産木材自給率

道産木材自給率（北海道）



北海道総面積834万haのうち、森林面積は554万haを占めます。戦後植林したトドマツやカラマツなど人工林が成長、本格的に利用可能な時期を迎えています。身近な道産木材を使い、北海道の森林資源循環を促進する必要が高まっています。

足元では「ウッドショック」で追い風ですが、2020年度の道産木材自給率は7割に満たない水準です。何より、建築材に限ると2割程度の低水準です（輸入材や本州材が多い）。住宅や家具等の購入にあたり、道産木材製品をご検討いただくと幸いです。



「THE LODGE」完成予想図

ファイターズ新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」 2023年春開業予定！

北広島市の北海道ボールパークFビレッジ内にファイターズ新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」が開業します。新球場を中心に商業施設・宿泊施設・レストラン・マンションなども併設。なかでも「**THE LODGE**」は、道産カラマツや道南スギを建物の外装に使った商業施設となります。ぜひご来場いただき、建築材としての道産木材もお楽しみください。